

特定非営利活動法人 京都海外協力協会



〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
ひと・まち交流館 京都 PO.BOX No.27E-mail : office@koca.or.jpURL : <http://www.koca.or.jp>

長い梅雨が明けて夏本番を迎え、いきなりの連日の猛暑にくわえて、相変わらずのコロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

賛否両論ありますが、オリンピックも始まりました。本来ならスポーツ隊員の活躍の場であったろうにと思うと今回のオリンピックは残念無念、悔しい思いをしている隊員も多数いるのではと想像に難くありません。

さて、5月の総会を終えて所管官庁である京都市への報告も無事終わり、令和3年度事業が本格的にスタートしております。先日はZOOMでの月例会を実施したところです。と言っても例年通りの活動にはまだまだ程遠いと言うのが現状ではあります。ワクチン接種がかなり進んでいますが、私にもやっと市役所から接種日の通知が届きました。この調子でいけば、年末ごろには少し動けるようになるのかなと期待しています。ですが、次から次へと変異株が現れており、世界的なことの終息にはまだまだ時間がかかりそうですね。とは言っても、協力隊の再派遣も徐々にではありますが進みつつあり、派遣前訓練も再開しています。我々もそれに対応すべく先を見据えて活動していかなければなりません。

ZOOMといったツールを活用して新しい活動方法の開発も必要です。それにはやはり若くて柔軟な発想、考え方やフットワークが必要だと考えます。

来年KOCAは新しい体制に移行すべく、今年度中の準備を進めていきます。

新しい体制といっても、表向き変わることはほとんどありません。名称は一時変更が必要になるかもしれませんが、目指すのは、誰もが参加しやすく堅苦しいことのない敷居の低いOV会です。

言いたい事があれば何でも言える、やりたい事があればその人を応援もする。そんなOV会にしていこうではありませんか。

そのために、皆さんのより一層のご理解、より積極的なご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 京都海外協力協会 会長 坂根 均

もくじ

KOCA会長あいさつ	1	『KOCA HAPPY 50th ANNIVERSARY プロジェ 5 外』～メッセージを送ってください～	
令和3年度通常総会報告	2	2021 オンライン月例会 (6/18)	6
総会后「ミニ交流会」を開きました	3	行事予定のお知らせ	8
WELCOME KOCA新会員	4		

令和3年度通常総会報告

令和3年度の「通常総会」は、新型コロナウイルスの感染防止に努め、会場とオンライン（Zoom）の併用開催といたしました。また、緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことにより、当初予定していたバンビオが使用できなくなり、四条烏丸に近い会場に変更して開催しました。

初めての試みとなりましたが、令和3年度の通常総会を無事終えることができ、今年度の新たな活動が始まりました。

新型コロナウイルスによる感染拡大に配慮して、活動の充実に努めていきたいと思っておりますので、会員皆様の益々のご支援とご協力をお願いします。



■日 時:令和3年5月30日(日) 午後2時～

■場 所:お気軽会議室 京都烏丸 (京都市下京区相之町141)

■出席者数:出席 30名(会場出席 11名、オンライン出席 7名、委任状 12名) / 総正会員 41名

■令和2年度活動報告

コロナ禍のもと、郵送による総会となり、毎月開催している月例会等さまざまな活動を中止せざるを得なくなりました。8月のZoomによる報告会、帰国隊員の首長への表敬訪問、エッセイコンテスト審査会等を実施しました。

広報活動として、協力隊活動報告「Together」第1号の発行、「KOCANEWS」の4回発行、ホームページ及びフェイスブックによる情報発信を行いました。

■法人格返上に向けての準備開始について

重要案件のため慎重を期して、オンライン参加も含めた出席者全員の意見を聞きました。

反対意見や保留する方の意見も聞いた上で、賛成多数をもって承認されました。



紙面の都合で、詳細部分は割愛します。総会資料、会計資料は、正会員の皆さまへお送りしております。

総会后 「ミニ交流会」を開きました

移動距離を気にせずに参加できるところが、オンラインの良さでしょうか。久しぶりの再会もあれば、初めての出会いもあるミニ交流会でした。

今回は、KOCA 創立 50 周年にちなみ、会員それぞれの KOCA との出会いや思い出、KOCA の良さを伝え合いました。

20 年以上続いた福知山のふれあい農園での収穫祭を始め、KOCA 事務所での語り合いを懐かしんだ他、比較的最近の思い出として、大文字山ウォークや JICA 海外協力隊活動報告集『TOGETHER』の制作が話題になりました。

KOCA の良いところなどを聞いているうちに、KOCA 会員によるつながりの温かさがオンライン上からも伝わってきました。

また、長らく KOCA 事務局を務め、今年 1 月、JOCA 大阪から異動して、多機能型福祉事業所「JOCA 東北」オープンに向けて宮城県岩沼市に引っ越した河合さんから近況を伺いました。「こっちは空が広いです！ 伊丹空港から1時間と意外と近いので、KOCA のみなさん、視察旅行に来てくださいね」とのお誘いに、「行きた〜い」とあちこちで反応がありました。JOCA 東北は 3 月に無事に開所し、河合さんからは忙しくとも元気な声が届きました。（誤解のないようにお伝えすると、河合さんは今年度も岩沼在住 KOCA 理事です）

ミニ交流会は和やかに、あっという間に1時間経ち、「次は、KOCA メンバーでオンライン懇親会をしましょう♪」と呼びかけてお開きとなりました。



★WELCOME★ KOCA 新会員

村山 圭吾 さん (JOCV H18-0/コンピュータ技術/タンザニア)

このたび入会させていただきました村山圭吾です。以後よろしくお願いたします。私は平成 18 年度 0 次隊のコンピュータ技術隊員としてタンザニアに派遣されていました。それまでは IT 企業で働いており、協力隊参加を転機として、在コルカタ日本総領事館で草の根無償資金協力のコーディネーター、あしなが育英会での勤務を経て 7 年前に京都市役所の協力隊経験者枠で市職員となり現在に至ります。市役所職員の協力隊 OV の集まりで亀村さんに誘われて KOCA の活動を知ることとなりました。

出身は東京なので市職員になるまで京都とは全く縁がなかったのですが、こちらに来てからタンザニアでの任地が同エリア、同時期の先輩隊員が 2 人も身近にいたり、KOCA の苦廣さんが同じ町内だったりと京都には何かと協力隊つながりの縁を感じます。

昨年からの新型コロナウイルスによる社会の大きな変化により協力隊はもとより国際協力が難しい時期ではありますが、KOCA の皆様が長年紡いでこられた地道な活動がこのような難局でも世界を結ぶ志を次代につないでいくのではないかと思っております。微力ではありますが、今後の活動に参加させていただきいろいろ一緒に学ばせていただければ幸いです。



<最近の写真>



<任地の自宅にて>

『KOCA HAPPY 50th ANNIVERSARY プロジェクト』

～メッセージを送ってください～

1971 年、京都ゆかりの協力隊 OB 会として出発して 50 年の節目の年を迎えました。また、2001 年に、NPO 法人 京都海外協力協会として活動してから 20 年経ちました。

会員の皆様のおかげで、今日まで継続できました！

昨年から続くコロナ禍で、今年はパーティを開くことはできませんが、50 周年をみんなで喜び合えるような企画ができればいいですね。

その企画第一弾として、「KOCA と縁のある 50 人のメッセージ集」を作ります。

- 1) KOCA と最初に出会った年
- 2) KOCA の良いところ
- 3) KOCA での楽しかった思い出

を集め、年度末を目処に一冊のメッセージ集にまとめます。

メッセージ集は、KOCA での集まりの場で見られるようにして、また、メッセージは、KOCAnews や Facebook 等で共有する予定です。

みなさまお一人お一人の思い出を、ぜひお聞かせください。

送り先: office@koca.or.jp (担当: 亀村)

文字数: 100-250 字

締切日: 1 回目締切 10 月 1 日(金) 2 回目締切 12 月 10 日(金)

総会で、17 名の会員の皆様にご協力いただきました。参考までに、これまでに集まったメッセージのうち、いくつかご紹介します。

1)【100 字】KOCA のマンションで、お寿司壮行会をしていただきました。

KOCA では、色々な年代・経験をしてきた人たちと、ワイワイ肩肘張らずに付き合えるところが好きです。2018 大文字山ウォーク楽しかった! 2020 TOGETHER できて良かった!!

2)【176 字】定年まで 2 年残して応募したシニアボランティアに合格したため退職しました。せっかくの仕事で早期退職したので、帰国後は国際支援、協力の活動をやろうと決めていました。訓練所で OV 会を知りました。タイ・ラオスの活動、アジアの活動、いずれかと思っていましたが、2011 年、帰国後一番に声をかけていただいた KOCA の活動をすることにしました。世界各国の様子を学べるのは最高です。

3)【234 字】鹿児島県出身で、1997 年に京都に転居して、協力隊 OB が講師をしていた精華町の「地球っこ講座」に参加したのがきっかけです。

KOCA の良さは

- K 帰国後も誰かの役に立ちたいという熱い
- O 思いを共感しあえる KOCA の仲間は
- C 経験から得た生きるパワーと、持ち前の知恵と行動力で、
- A 明日への原動力となり、心の支えとなっています。

入会当時、京都駅近くのマンションに KOCA の事務所がありました。そこで時間を忘れて、派遣国、隊次を超えて様々なバックグラウンドを持った方々の人生観や世界観を聞いたのは良い思い出です。

2021 オンライン月例会（6月18日）

「経験を地元で活かすアイデア出し！」を開催しました

6 月 18 日(金)20 時から、オンライン月例会を開きました。

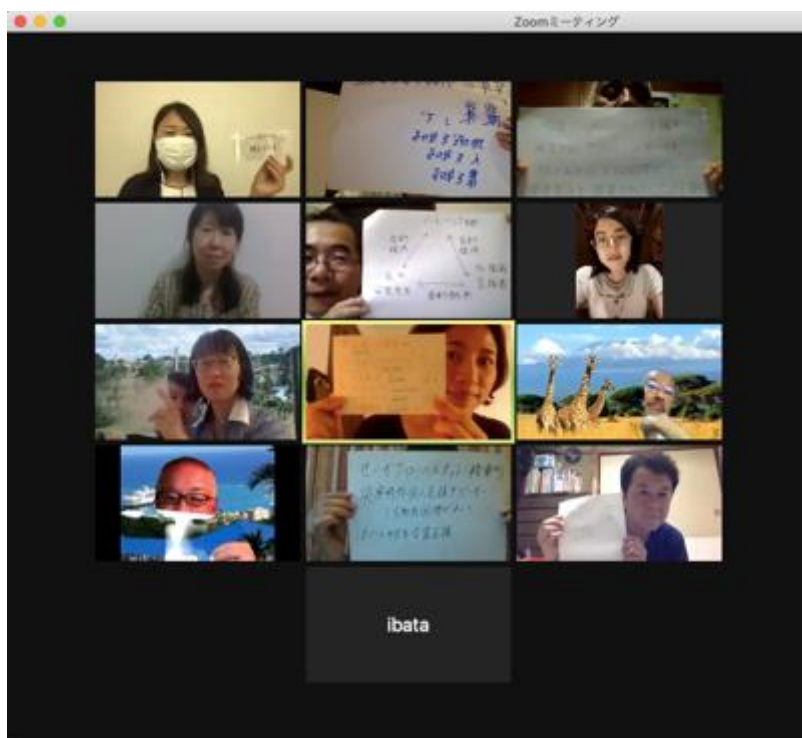
京都府の参加は 10 名(うち KOCA 会員 8 名)で、Facebook や kocanet、JOCA ネットワーク近畿メーリングリストで案内をしたため、大阪、和歌山、山梨から 1 名ずつ参加がありました。

大阪からの参加者は、JOCA 大阪の榎谷さんです。榎谷さんは、4 月からマネージャーとして着任され、総会でお顔を合わせて以来の再会。ちょくちょくお会いできると嬉しいものですね。参加者全員で意見交換をしながら、JOCA 大阪として KOCA の活動を支援していただけることは心強く感じました。

「人とつながりたい」
 「運営の仕方を学びたい」
 「アイデアを持ち寄りたい」
 「他府県の OV 会活動を知りたい」
 「帰国後、隊員経験者がどう過ごしているのか知りたい」
 などの理由で参加した人たちと、まずは自己紹介をしました。

続いて、アイデア出しの練習として「丸いもの」を2分間で思いつく限りたくさん出しました。

みなさんは「丸いもの」と聞いたら、どんなものが浮かびますか？

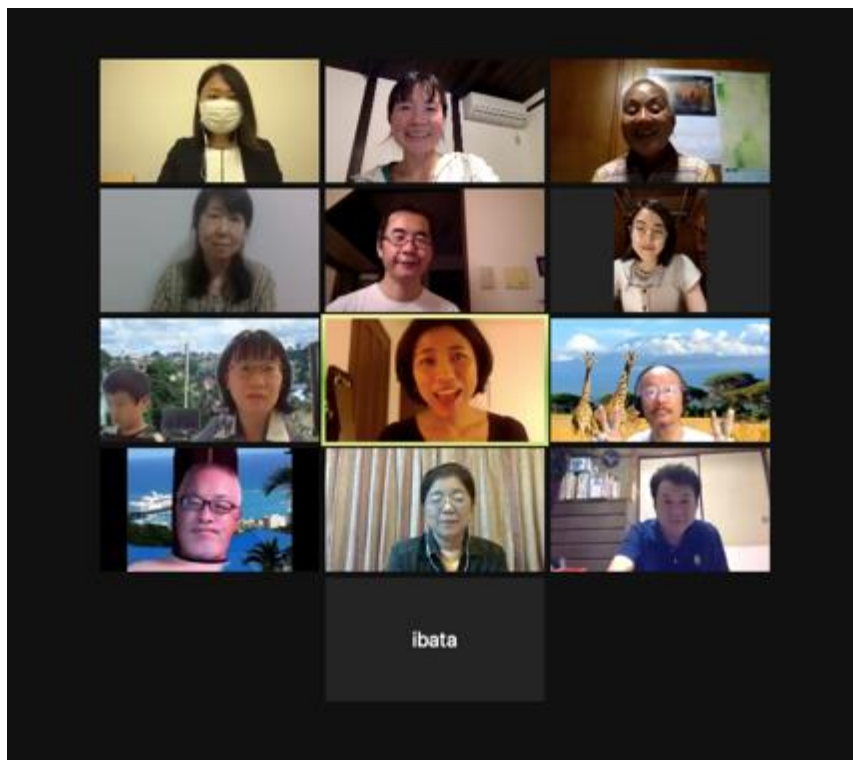


地球、餅、ドーナツ、時計、指輪、満月、太陽、瞳、ビー玉、ボール、フリスビー、丸まった猫…。たくさん、たくさん出ました。丸いものを絵で描く人もいれば、言葉で記す人もいて、表現方法も一つでなくて興味深かったです。

「経験を、地元で活かすアイデア出し」では、「自分が地元でやりたいこと」を考えて発表しました。出てきたアイデアはこちら。

<活動・イベント>

- ・農家さんと畑作業したい。
- ・お茶に関係するイベントをしたい。
- ・活動を伝えるだけでなく、手足を動かす活動をしたい。
- ・オンラインで社会課題や歴史をテーマにした意見交換を開きたい。
- ・就労支援施設に通う利用者さんが実習できる場を見つけていきたい。
- ・居酒屋運営するかもしれないので、1 日店長を募集したり、隊員 OBOG が集まる場にしたい。



<仕組みづくり>

- ・人のつながりを作っていきたい。
- ・20 代・30 代の帰国隊員が、地元で経験を活かせるような場を作りたい。

「やりたいな」と思ったきっかけを聞いたり、質問したり、さらなる提案をしてみたり…

誰かのやりたいことを、みんなで考えてみる時間をとりました。

あつという間に終了時間になったので、一度会を閉めてから、残れる人で 22 時過ぎまで語りました。別際に「楽しかったです」「色々な考えに触れることができました」「色々な意見を伺うことができました」「連携していきたいです」「また参加します」と、声で、メッセージで言葉を交わして 6 月例会を終えました。

地方創生や地域貢献は一朝一夕では成し遂げられません。京都を元気にしつつ、自らも夢中になれる活動の一步を踏み出せる場に、それを、KOCA が温かく応援するような場になればいいなあと願って、同じテーマで何度か月例会を開きます。新たなつながりも生まれることを期待します。

